

はるす

発行日 1999年12月20日 第4号
発行 札幌歯科医師会立口腔医療センター
〒064-0807 札幌市中央区南7条西10丁目
TEL (011) 511-7774 FAX (011) 511-1530
<http://www2.tky.3web.ne.jp/~sasshi>
E-mail sasshi@tky2.3web.ne.jp
発行人 小林重行 発行責任者 鶴岡一彦

平成11年度第1回研修会開催される 「障害者歯科と音楽療法」

音楽療法（ミュージック・セラピー）は、音楽の特性を活かし、閉鎖的な環境に身を置く障害児（者）や老人介護に伴う諸問題、現代病とも言われる心の歪みなどに起因する心身疾患を癒し、機能回復を図るための一手段として、医療現場において確実に成果を上げている新しい分野です。



講師の甲谷^{こうや}いたる^{いたる}先生は、現在神奈川リハビリテーション病院歯科口腔外科副部長で、いち早く音楽療法の研究に取り組み、ご勤務先の病院や老人重度知的障害者施設においてご活躍中です。当日は先生の豊富な経験談をはじめ、実践されておられる様子を収録したビデオをもとにご講演いただきました。

知的障害のある歯科患者の治療は、急性症状のない場合でも患者の協力がまったく得られず困難な場合が多々あります。知的障害患者の恐怖やストレスを取り除き、治療を円滑に進める上での効果的な方法を模索したのが音楽療法を始めるきっかけとなったそうです。音楽療法には音楽をBGMとして用い、歯磨きの効果を高めるために利用するものや、患者とのコミュニケーションを深める媒介とするものなどがあります。後者は定期的に患者と治療スタッフが一緒に歌を唄ったり、楽器を演奏したりすること（セッションと呼ばれています）によりコミュニケーションを深め、互いの意志を通わせることで、両者間の心の垣根を取り払い、歯科治療をスムーズに進める試みをいいます。

甲谷先生が担当した施設では、このセッションにより最初は無関心だった患者（施設では利用者と呼ばれています）も回数を重ねるたびに次第にリズムに合わせて身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして演奏に加わるようになり、中には率先してボーカルを務めたり、リクエストをする人も出てきたそうです。ビデオには生き生きとした表情で演奏に参加する利用者の姿が映し出されていました。最初は怖がって歯科診療室に近づくことさえも拒否していた利用者も今ではすっかりうち解けて、椅子に座って順番を待つことができるようになったり、次の治療日を尋ねたりするような積極性がみられるようになったそうです。講演からは音楽療法に取り組む甲谷先生の熱情が感じられました。



また、治療をしている我々スタッフが逆に音楽を通して患者に癒されるという言葉が心に残りました。甲谷先生ありがとうございました。

みんなで歌を唄うことも音楽療法の一貫です

「施設職員対象保健講習会」開催

11月16日(火)、札幌歯科医師会館の障害者診療部において、施設職員対象保健講習会が開催されました。今回は、昨年に次ぐ2回目であり、障害者をかかえる各種施設職員の方に、口腔環境を理解していただき、日常の指導や介助の手助けにさせていただくために行う講習会です。

当日は、当センターを利用している11施設23名の参加がありました。

まず、宮田センター所員の司会で、小林センター所長の挨拶の後、職員の紹介があり講演が始まりました。

講演の内容は講義と実習に分かれ、講義は障害者診療部の横濱副主任歯科衛生士が担当し、主にブラッシングの大切さとPMT Cに関して、ビデオを交えての講演となりました。

<講義内容>

1) PMT Cについて

専門家(歯科医師、歯科衛生士)による、器具を用いて歯のプラークを取り除き、歯のクリーニングを行う方法→歯周病予防には大切なこと

2) ダウン症の患者さんは、歯肉が弱くなりやすい

特に、早い時期からPMT Cを受け、歯肉を守る必要がある

3) 口腔医療センターでは、患者さんの歯と歯肉を守るために予防を行っている

以上の3項目について講演致しました。

続いて実習では、参加者の方々を5グループに分け、第1から第3診療室を使用して、プラークの染め出し、相互ブラッシング、プラークの取り残しをPMT Cの器具を用いて実際に行ってみました。

受講者の方々に、口の中の爽快感を味わっていただき、ブラッシングの大切さを理解していただきました。実習の後、アンケートに記入していただき、講演が終了しました。



介護の基本は 口腔ケアから

—「第3回在宅介護者教育講座」開催—



「なるほど、そうか!」とうなずく受講者のみなさん

この教育講座は、介護に携わっている保健婦、看護婦、ホームヘルパー、介護福祉士などの方々に口腔ケアの必要性と重要性を認識していただき、合わせて口腔の衛生や機能を維持する上の知識を習得していただく機会として開講したものです。

当日は、プラーク、歯周病などについてスライドを交えた講義が行われた後、インストラクターの歯科衛生士によるブラッシングのデモンストレーションが行われ、受講者はブラッシング時の姿勢や歯ブラシの使い方などの説明に熱心に耳を傾けていました。説明を聞き終えた受講者はペアを組み、実習内容を自ら体験し、最後は口元と身体をリラックスさせる嚥下体操で講習を締めくくりました。

受講者からは「大変参考になった」、「さっそく介護の場で実践してみる」といった感想が口々に聞かれました。

食事は生命の源。食事を美味しくもりもり食べてもらえるかどうか、要介護者の健康を左右することは言うまでもありません。その意味からも、要介護者の口腔ケアの一助となるように、また、介護者のニーズに合うように講習内容の充実を図っていきたいと考えております。

本年7月に続き通算3回目となる、在宅介護者教育講座「口腔ケア研修会」が、11月24日(水)午後7時より札幌歯科医師会館5階の大講堂で開催されました。

障害者診療部のドクター紹介



まるや としあき

丸谷 敏昭 先生

センター9年目の丸谷です。
少しでも障害者の方々のためにガンバリ
たいと思っています。



へござき けんざぶろう

萠崎 健三郎 先生

名前が変わっておりますが、人間的に
は正常だと思っております。



みやた おさむ

宮田 研 先生

障害者診療に recipeはいらない！
心をこめた治療あるのみ…。



さいとう よしたか

齋藤 嘉高 先生

センターに入って6年目。
いろいろ勉強させてもらっています。



きたの かずひろ

北野 和博 先生

センター所員6年目の北野です。
よろしく願いいたします。



はしもと あきら

橋本 章 先生

あっという間に6年がたちました。
せつかく覚えてもらった顔はどんどん丸く
なっています。
今後ともよろしく願いします。



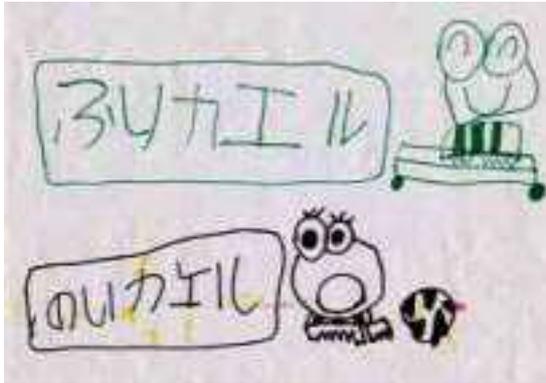
摂食指導の実績を 第16回日本障害者歯科学会で発表

第16回日本障害者歯科学会が10月23日(土)・24日(日)の両日、徳島大学において開催されました。当センターでは、北海道大学歯学部附属病院特殊歯科治療部並びに同大学歯学部小児歯科学講座の応援をいただき、「札幌歯科医師会口腔医療センターにおける摂食・嚥下機能障害への取り組み」と題して口頭発表をいたしました。この学会は、歯科医や歯科衛生士のみならず、リハビリ、言語、栄養の専門職から行政関係者まで障害を持った人々に関わるあらゆる職種の人々が集うユニークな学会です。

当センターの戸倉 聡所員より、平成10年度から始めた摂食外来診療のシステムと診療実態が報告され、この部門の第一人者である前昭和大学歯学部教授の金子芳洋先生より、「地域や在宅での活動が普及につながる。とても良い取り組みなので今後ともがんばってほしい・・・。」と激励の言葉をいただき、センター関係者一同は大いに感激いたしました。

投稿コーナー

今回は、合田和貴くんの絵をご紹介します



皆様からのご投稿をお待ちしております。
イラスト、写真、センターへのご意見、スタッフへのお手紙など、何でも結構です。
どしどしお寄せください。

救急診療部からのお知らせ

夜間の歯の痛みなど、救急処置を目的としています。
継続的な治療は受けられません。
ご注意ください。

☆ 診療のごあんない ☆

診療時間 午後7時～午後11時 年中無休)

電話番号 (011) 511-7774

※ 必ず保険証を持参してください。

夜間救急診療部は、年末年始も休まず診療しております。

混雑が予想されますので、ご注意ください。

障害者診療部からのお知らせ

☆ 診療のごあんない ☆

診療時間

火～金曜日 午後2時～午後5時

土曜日 午前10時～午後1時

午後2時～午後5時

電話番号 (011) 512-9497

休診 月曜日・日曜日・祝日・年末年始

※ 障害者診療は完全予約制となっております。

診療ご希望の方は、下記の時間帯にお電話にてご予約ください。

火～金曜日 午前9時30分～正午

次の言葉知ってますか？

- 1. 噛む come 歯っぴい
- 2. 8020
- 3. 歯は友
- 4. 4月18日
- 5. 6月4日
- 6. 10月8日
- 7. 11月8日
- 8. 11月9日
- 9. 12月9日

<読み方と意味>

- 1. 噛む come 歯っぴい (噛めば幸せ来る)
- 2. 8020 (80歳迄20本以上残そう)
- 3. 歯は友 (HOW ARE YOU 歯は友達)
- 4. 4月18日 (良い歯の日)
- 5. 6月4日 (歯の検査をしよう)
- 6. 10月8日 (入れ歯の検査をしよう)
- 7. 11月8日 (歯の検査をしよう)
- 8. 11月9日 (口臭の検査をしよう)
- 9. 12月9日 (障害者の日)

いくつわかりましたか？ 分からなかったら口腔センターへどうぞ！

編集委員長 富田達洋

編集後記